

# 名古屋大学から Nagoya Universityへ

「激動期を迎えつつある日本と名古屋大学の改革  
～浜口フランをめぐって～」

名古屋大学 総長 濱口道成

Toyoda Auditorium,  
donated by the Toyota Motor Corporation

# 21世紀は『持続可能社会実現の世紀』 ～世界の70億人以上と共生する時代～

21世紀は  
「持続可能性が問われる時代」

開発途上国の経済の躍進、  
資源枯渇、食糧危機、  
地球温暖化、環境破壊

資源の少ない日本の生き残り、共生の道は？

安定的な発展と  
新たな価値の創造

科学・技術の発展  
(イノベーション)

人材

“ヒト” がイノベーションを含む科学・技術の発展を生み出し、科学・技術発展が人類社会の持続可能性を実現する

“人材” への投資が我が国にとって最も重要



# 日本の抱える困難

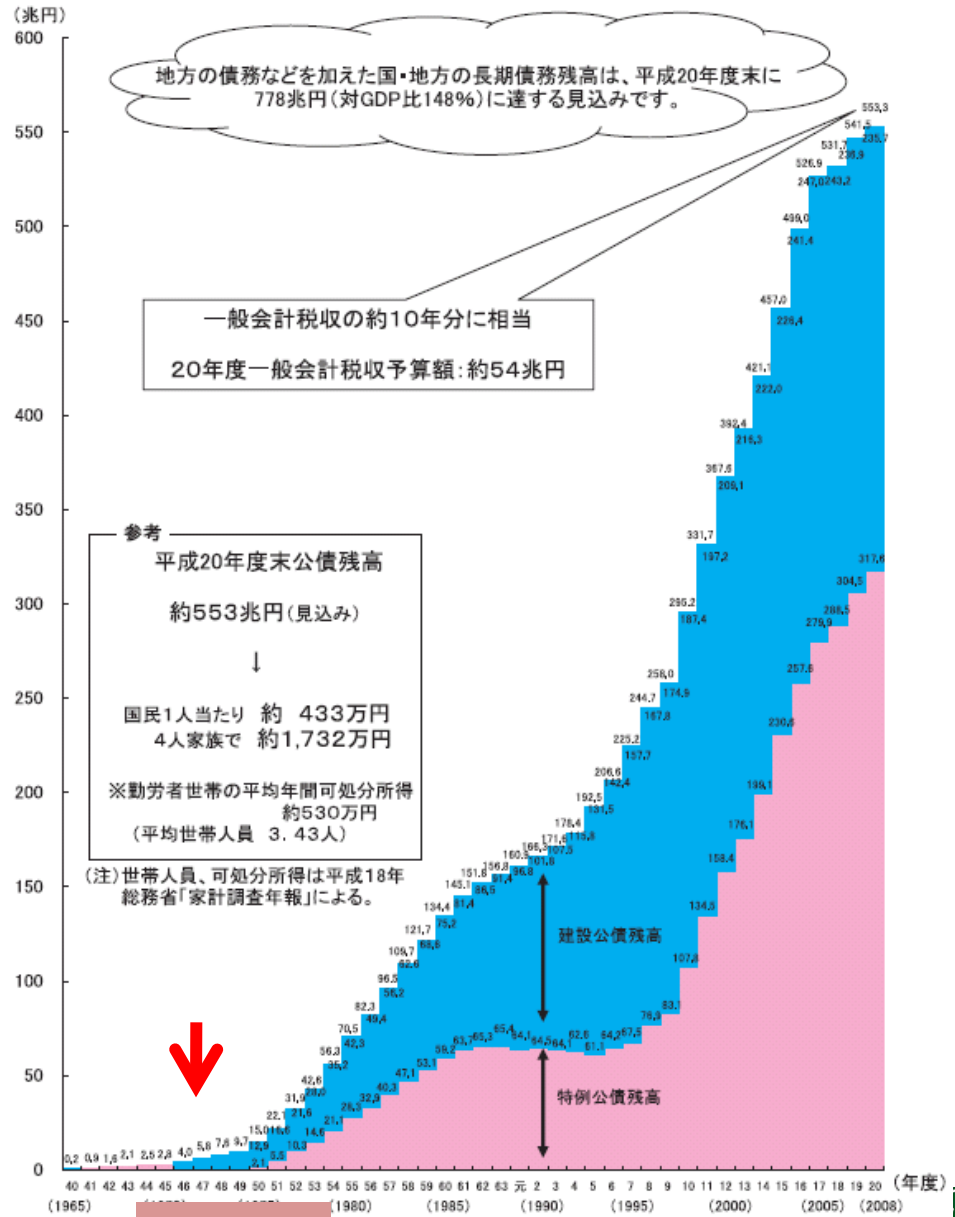
## ～高等教育の未来はあるか？～

- 財政赤字のもとでの運営費交付金削減
- 少子高齢化・人口減少社会
- グローバリゼーションと産業の空洞化
- 極めて低い資源自給率、食糧自給率
- 医療保障

# 日本の危機 (1) 財政赤字

**公債残高：  
平成20年度末で  
778兆円  
GDP比148%**

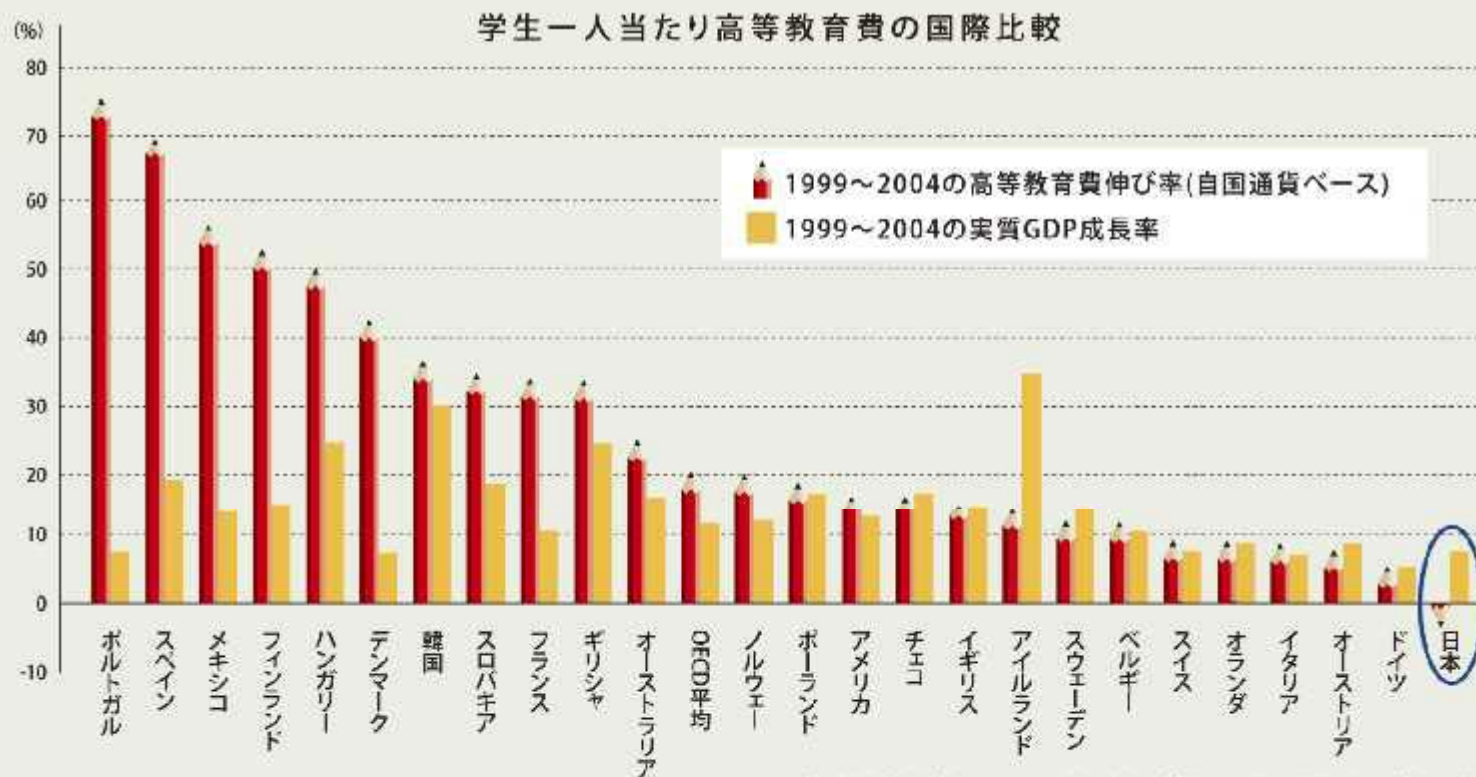
**財務省パンフレット  
「日本の財政を考える  
平成20年9月」**



1975

# 日本の高等教育への公財政支出は最小

高等教育費の伸び率は、OECD諸国中日本が**唯一**のマイナス  
( $\downarrow 2.6\%$ )



出典: 高等教育費伸び率は、2008.12.24中央教育審議会「学士課程教育の構築に向けて」(客中)手帳  
実質GDP成長率は、国際連合の国民経済計算データベースに基づき作成

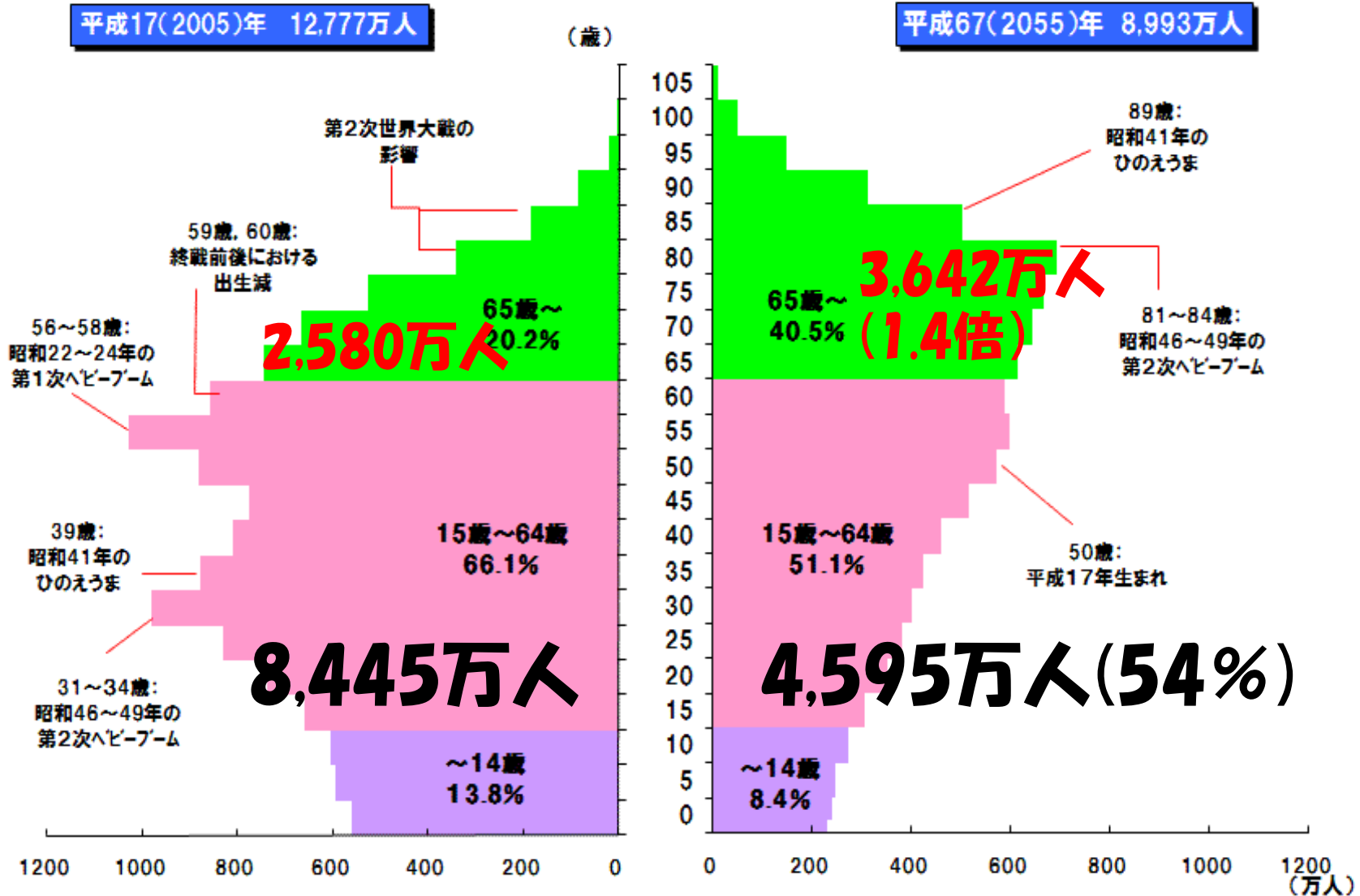


# 日本の抱える困難

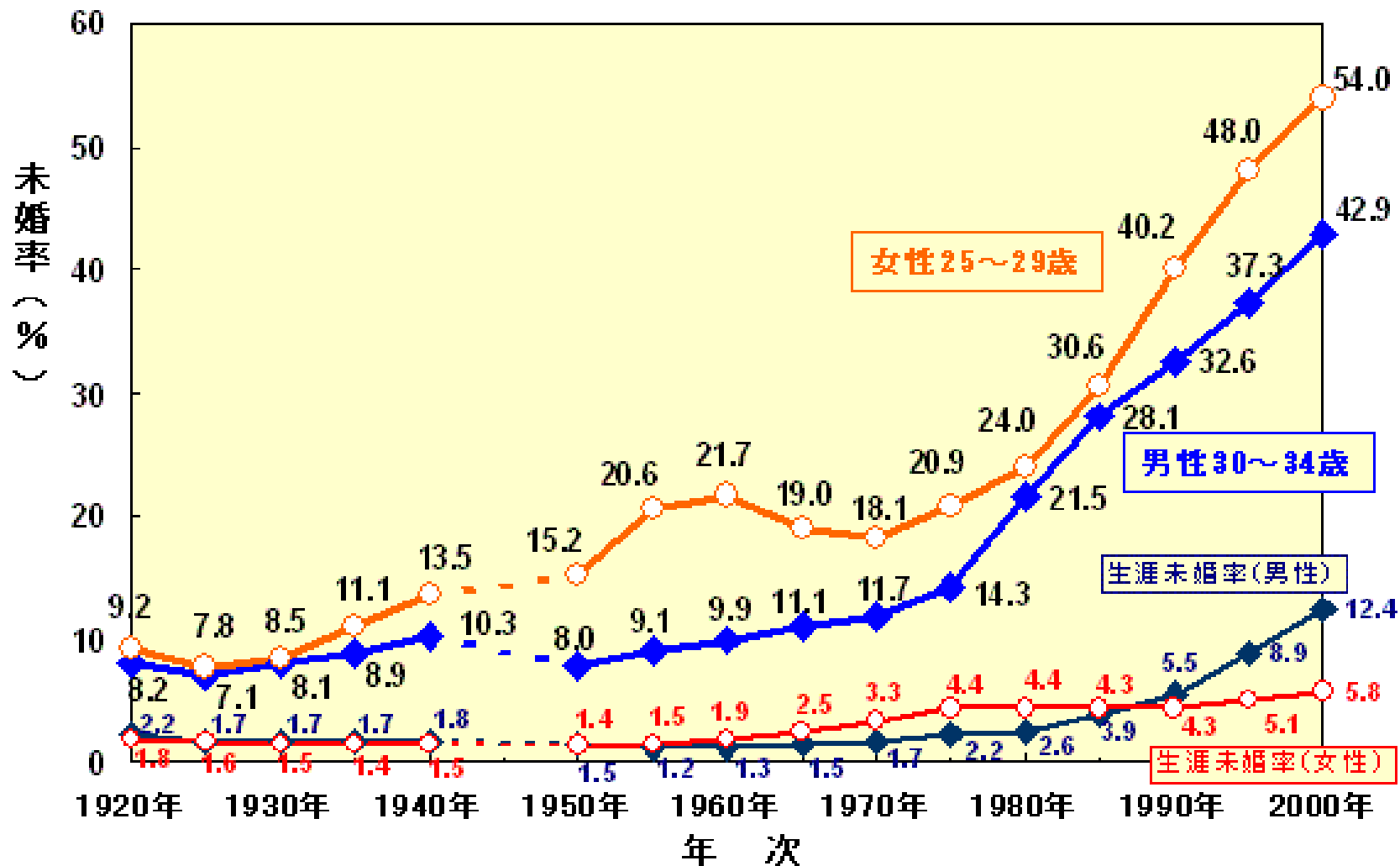
## ～高等教育の未来はあるか？～

- 財政赤字のもとでの運営費交付金削減
- 少子高齢化・人口減少社会
- グローバリゼーションと産業の空洞化
- 極めて低い資源自給率、食糧自給率
- 医療保障

# 日本の危機（2）超高齢人口減少社会

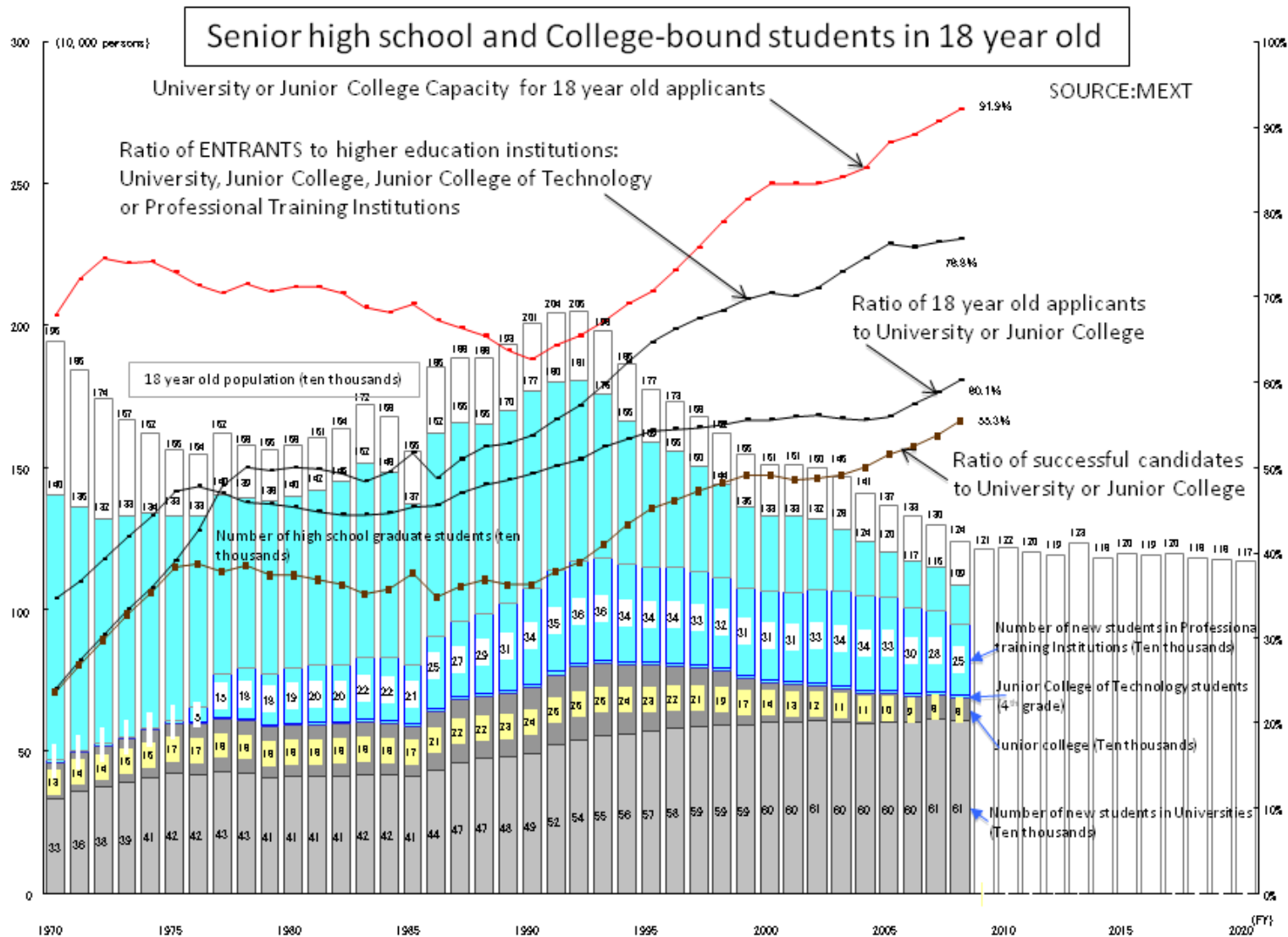


# 少子高齢化と晩婚化・未婚化





# 激減した18歳人口



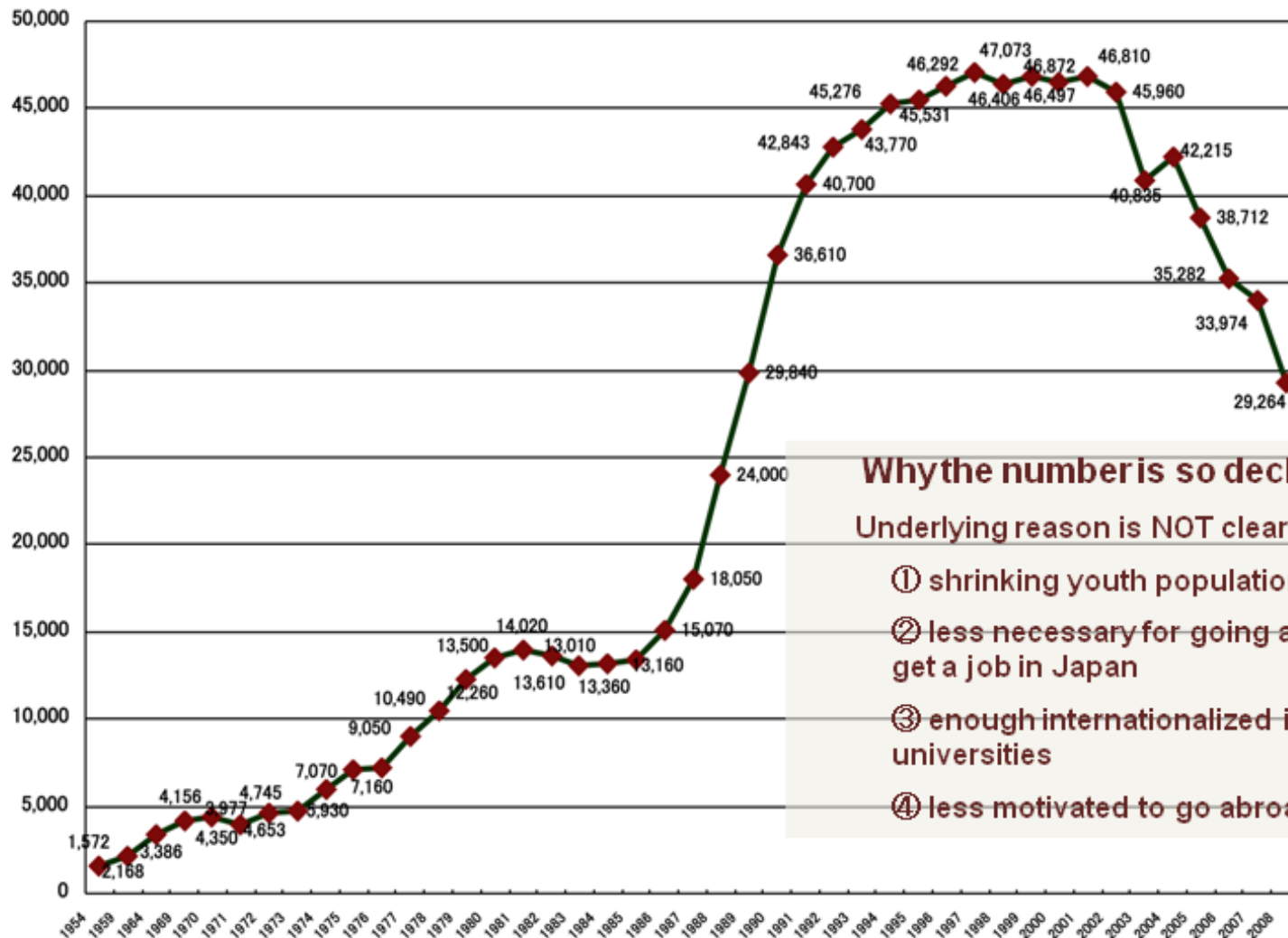
# 大学淘汰の時代が到来か？

# 日本の未来の為に高等教育の取らうる道

- **国際化を図り、優秀な人材を世界から集める。**
- **女性の社会進出を促す。**
- **若者の結婚と出産を支える。出産育児支援を進める。**
- **老人の雇用延長と才能の活用を図る。**

**さて、日本の大学の国際化は  
どうなっているだろうか？**

# Japanese Students Studying in USA



## Why the number is so declining?

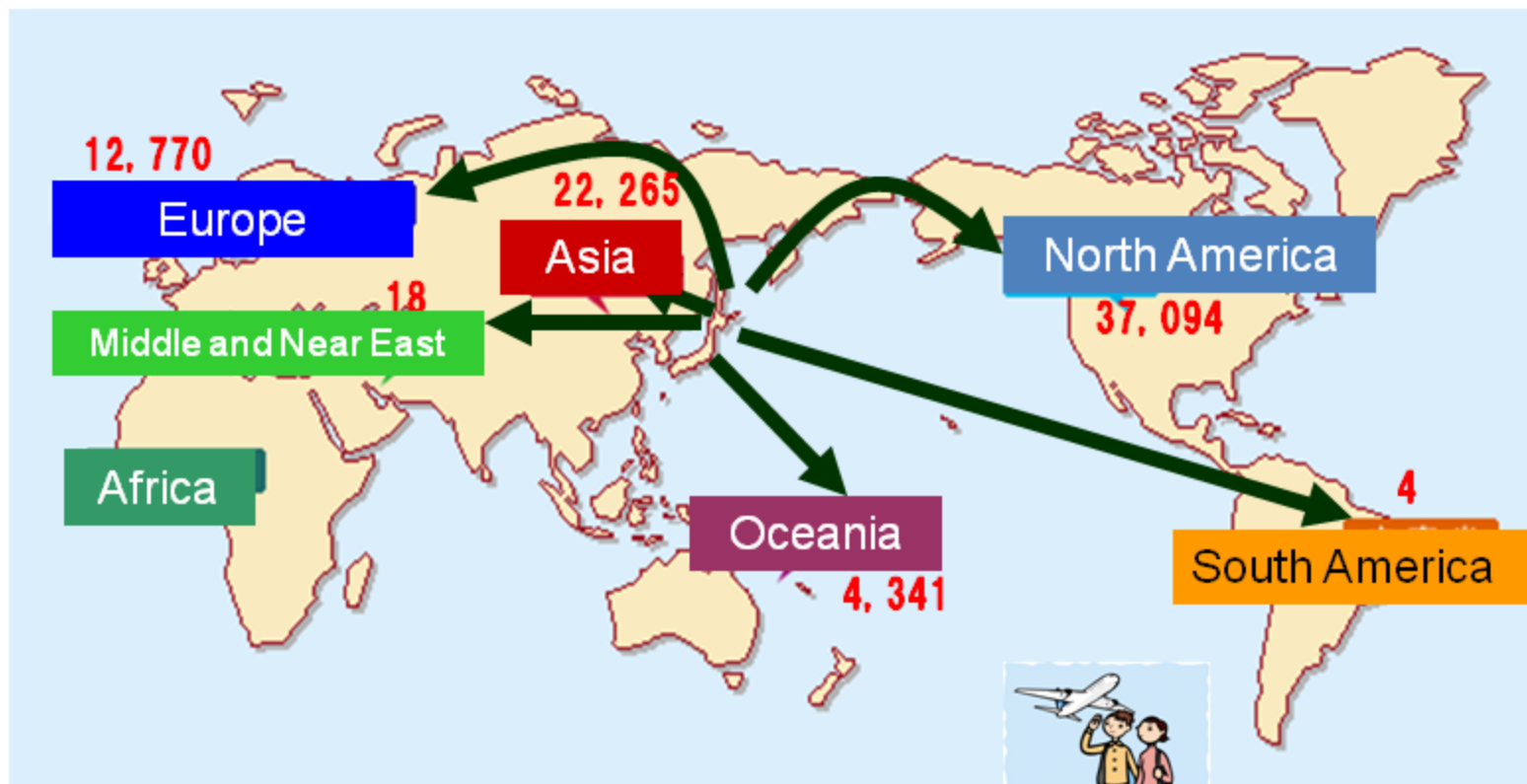
Underlying reason is NOT clear though,

- ① shrinking youth population
- ② less necessary for going abroad to get a job in Japan
- ③ enough internationalized in Japanese universities
- ④ less motivated to go abroad for youth

# Number of Japanese citizens studying abroad

Total : 76,492

2006



Source: MEXT

# 海外の高等教育

- **EUの高等教育国際化は怎么样了。**



# 欧州の大学改革：エラスムス計画

「エラスムス計画」は1985年、当時のEC委員会が提案した学生・教員交流事業である。1987年以降、学生や教員が欧州域内の他大学への留学・交流を促進する「エラスムス・プログラム」(Erasmus program)が展開されている。加盟各国の欧州の大学生は、他国の大学に3カ月～12カ月間留学できる制度。

## エラスムス・ムンデュス計画

## ボローニャ宣言

## ヨーロッパ単位互換制度

(ECTS = European Credit Transfer System)



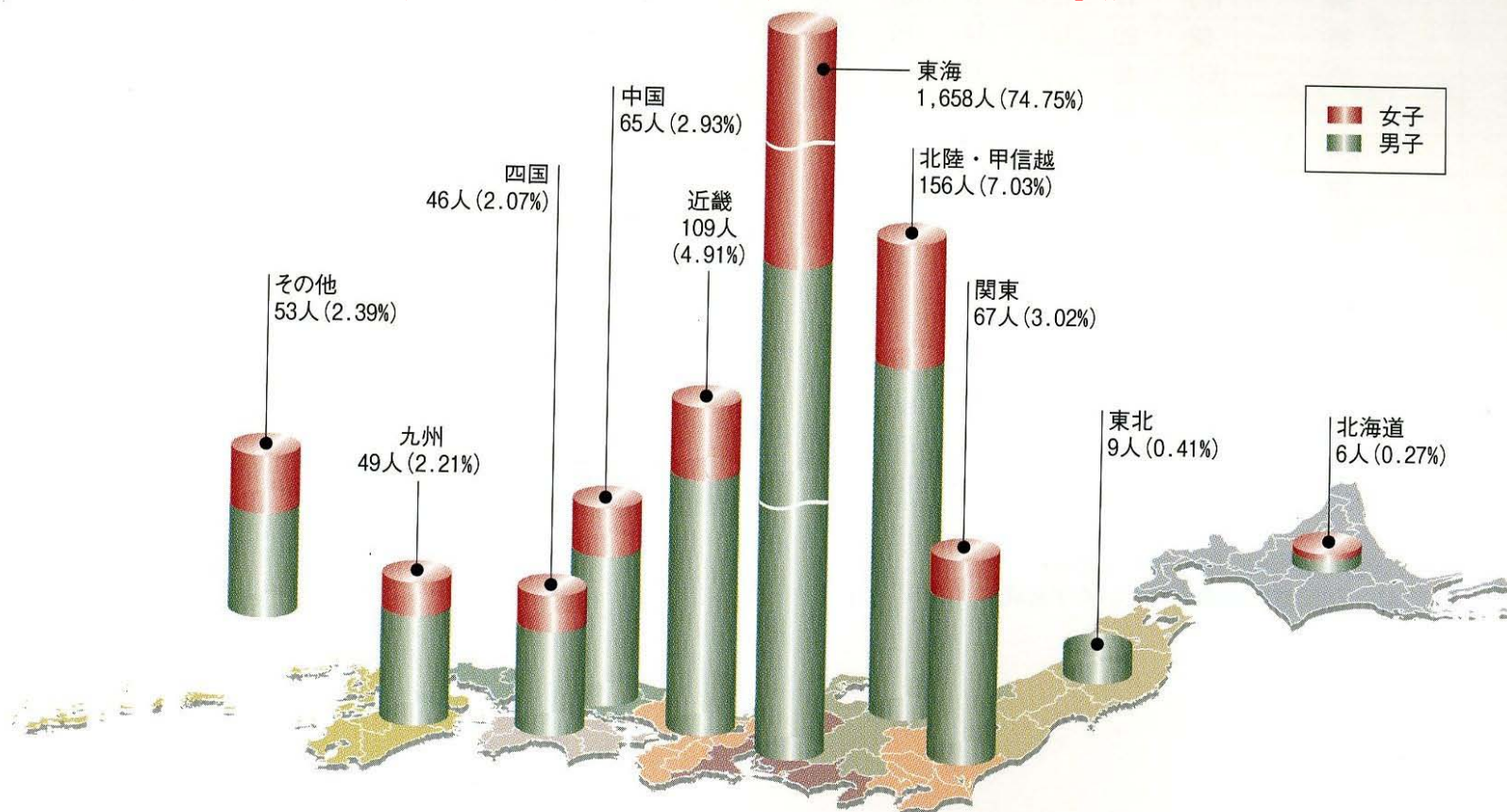
15世紀に活躍した人文学者 エラスムス：  
ハンス・ホルバイン画(1523年)  
引用：[DR WIDGER'S LIBRARY](#)

**さて、名大について考えてみる**

**皆さんの持つ名大生のイメージは？**

# 名大は大きな地元大学か？！

地元で生まれ、地元で育ち、地元で就職



名大生は誠実、実直、堅実だが覇気に乏しい？



## 名大生は誠実、実直、堅実だが覇気に乏しい？

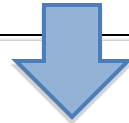
- 皆さん、ご自身の自己評価は？
- 覇気に乏しい？けど東京で生き抜いてきた！
- いや、おれは覇気がある！！
- では何が違っていたのだろうか？
- 貧しい日本、厳しい生活、名古屋の夏に耐え、伊吹おろしをしのぎ、4畳半と銭湯の生活が、覇気を作ったのか？この生活がノーベル賞を生み出した？！自宅から通ってもノーベル賞は取れた！
- **今の学生にどんな教育環境が必要か？快適な教育環境整備？ = 私の悩み**

## 名古屋大学のミッション(学術憲章より抜粋)

国際的な学術連携および留学生教育の一層の充実を図り、世界といわけアジア諸国との交流に貢献する。

## 中期目標(抜粋)

教育研究における国際交流、国際協力プロジェクトへの参画などを通じて、名古屋大学のプレゼンスを高める。



- 留学生・外国人研究者の受入れ、派遣体制の整備・拡充
- 国際的な共同研究の積極的推進



## 濱口プラン

名古屋大学からNagoya Universityへ

1. 世界に通ずる人材の育成
2. 世界トップレベルの研究推進
3. グローバル化の推進

等

# 1. 世界に通ずる人材の育成



- **Nobel prize laureates**
  - Dr. Ryoji Noyori for Chemistry in 2001
  - Dr. Osamu Shimomura for Chemistry in 2008
  - Dr. Makoto Kobayashi and Dr. Toshihide Maskawa for Physics in 2008
- Invention of the **blue light emitting diode**
  - Dr. Isamu Akasaki
- Discovery of **carbon nanotubes** in 1991
  - Dr. Sumio Iijima



Dr. Osamu Shimomura



Dr. Makoto Kobayashi



Dr. Toshihide Maskawa

## 2. 国際化の推進

**名古屋大学は、  
今までどんなことを実践してきたか**

- **留学生の受け入れ**
- **大学間連携とAC21**
- **特色あるプログラムの実践**
- **海外拠点、同窓会整備**



# 留学生受け入れ国・地域別 Top 10

2009年11月現在

	国・地域	留学生数	%
1	中国	788	50.3%
2	韓国	142	9.1%
3	台湾	54	3.4%
4	インドネシア	52	3.3%
5	ベトナム	47	3.0%
6	マレーシア	41	2.6%
7	カンボジア	38	2.4%
8	ウズベキスタン	35	2.2%
9	バングラデシュ	32	2.0%
10	モンゴル	23	1.5%
-	その他	314	20.1%
	<b>留学生総数</b>	<b>1,566</b>	<b>100.0%</b>

# 大学間協定校一覧(82大学)



## インド

プネー大学  
インド科学大学院大学  
タタ基礎科学研究所



## インドネシア

ガジャマダ大学  
スラバヤ国立大学  
バンドン工科大学



## カンボジア

王立プノンペン大学



## タイ

カセサート大学  
チュラロンコン大学  
チュラポーン研究所／  
チュラポーン大学院大学



## 韓国

木浦大学校  
慶尚大学校  
梨花女子大学校  
漢陽大学校  
高麗大学校  
ソウル国立大学校  
慶熙大学校  
延世大学校  
成均館大学校



## 中国

南京大学  
吉林大学  
華中科技大学  
清華大学  
復旦大学  
西安交通大学  
浙江大学  
上海交通大学  
同濟大学  
東北大学  
北京大学  
ハルビン工業大学  
中国科学技術大学  
中国科学院上海有機化学研究所



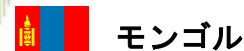
## フィリピン

東南アジア地域農業教育研究  
センター(SEARCA)



## ベトナム

ハノイ工科大学



## モンゴル

モンゴル国立大学  
モンゴル科学技術大学



## ラオス

ラオス国立大学

## 台湾

国立台湾大学  
国立政治大学  
国立清華大学



## 米国

オーバーリン大学  
ノースカロライナ州立大学  
ハーバード・イェンチン研究所  
シンシナティ大学  
セント・オラフ大学  
南イリノイ大学カーボンデル校  
イリノイ大学アーバナ・シャンペーン校  
ニューヨーク大学  
シカゴ大学  
ケンタッキー大学  
ミネソタ大学  
カリフォルニア大学ロサンゼルス校



## カナダ

ヨーク大学  
トロント大学  
(The Faculty of Arts and Science)



## ブラジル

ブラジリア連邦大学  
サンパウロ大学



## イタリア

イタリア国立核物理学研究所(INFN)  
カタニア大学



## ウズベキスタン

タシケント国立法科大学



## 英国

シェフィールド大学  
ウォリック大学  
ブリストル大学  
ロンドン大学東洋アフリカ学院(SOAS)



## スイス

欧州原子核研究機構(GERN)



## デンマーク

コペンハーゲン大学



## ドイツ

ブラウンシュバイク工科大学  
ミュンヘン工科大学  
ケムニッツ工科大学  
フライブルク大学



## フランス

ポンゼシヨセ工科大学  
パリ第7大学  
リヨン第3大学  
グルノーブル大学群  
ストラスブール大学  
パリ東大学



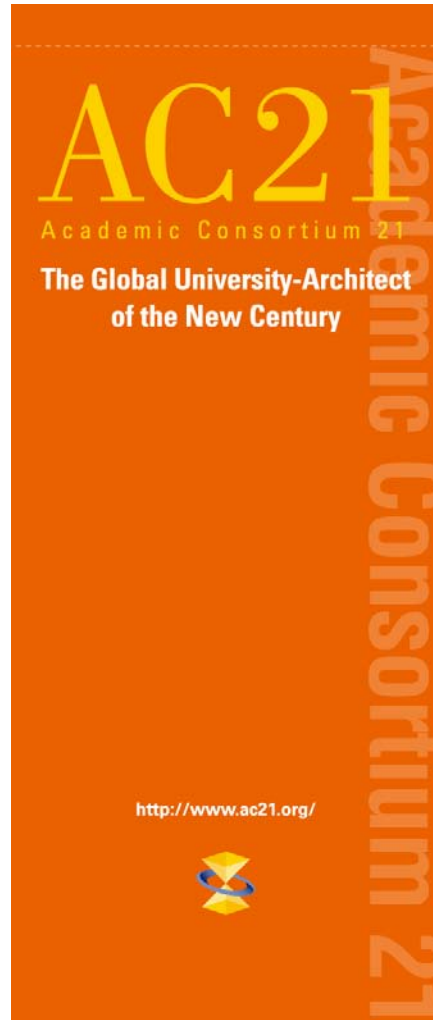
## オーストラリア

シドニー大学  
南オーストラリア大学  
フリンダース大学  
アデレード大学  
モナシュ大学  
オーストラリア国立大学

※並び順は協定締結順



# AC21メンバー機関 (11か国、20大学)



アメリカ合衆国  
ノースカロライナ州立大学\*

イギリス  
ウォリック大学\*

インドネシア  
ガジャマダ大学

オーストラリア  
アデレード大学  
シドニー大学\*

タイ  
カセサート大学  
チュラロンコン大学 \*

中国  
華中科技大学  
吉林大学  
上海交通大学\*  
同濟大学  
東北大学  
南京大學  
北京大學

ドイツ  
ケムニッツ工科大学\*  
フライブルク大学

日本  
名古屋大学\*

フランス  
ストラスブール大学

南アフリカ  
ステレンボッシュ大学

ラオス  
ラオス国立大学

\*印: AC21 運営委員会メンバー

AC21 パートナー  
Advantage West Midlands  
Asia House  
伊藤忠商事株式会社  
中部電力株式会社  
トヨタ自動車株式会社  
日本ガイシ株式会社

**JAPAN**

2009 Summer Intensive Program at Nagoya University  
**June 16~July 22, 2009**  
**Latest Advanced  
 Technology & Tasks  
 in Automobile Engineering**

+ Elementary Japanese

Language: English  
 Place: Nagoya, Japan

Inquiries & Applications:  
 International Office of your University

Microcontroller and Control of a Car  
 Crash Safety  
 Parking  
 Communication Technology in IT  
 Car Information Processing  
 Trail for Power Characteristic  
 Automobile Embedded Computing Guidance  
 Observation and Evaluation of Driver Behavior  
 Mobile Engineering of the Personalized Lifestyle  
 Emerging Technology for Automobile  
 Current Status of OLE Technology in the Vehicle Development  
 Plastic and Automobile Catalyst for Environmental Friendly Car  
 New Manufacturing System in Car Industry  
 Current Trends in Automobile Engineering and the Car Industry and related  
 Individual Research Project

**Application Deadline: February 28, 2009**

**WEBSITE** ⇒ <http://www.engg.nagoya-u.ac.jp/en/nusip/>

# 名古屋大学サマープログラム

## Nagoya Univ. Summer Intensive Program (NUSIP)

### 1. 概要

- 海外からの短期留学生向けプログラムとして、中部地区の代表的産業である自動車産業を取り上げ、**自動車産業に関する最新技術の講義**を開催。
- すべての講義を、**企業研究者と名古屋大学工学研究科の教員がペア**で実践的な講義内容を提供。使用言語は**英語**。
- 対象学生は学術交流協定やAC21参加校

### 2. 実施期間 (H21年度)

2009.6.16~2009.7.22

### 3. 参加者 (H21年度)

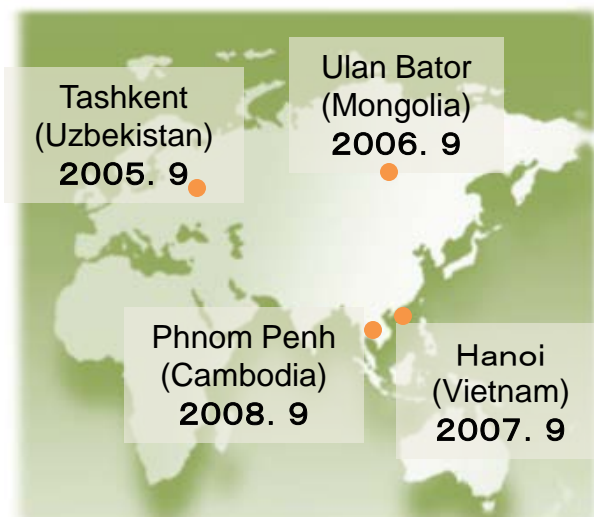
- (1) 海外学生 (米国25名、英国3名、仏2名)
- (2) 名古屋大学生 (正規生2名、聴講生17名)



# 名古屋大学日本法教育研究センター(2002.4設立)

－ 日本語による日本法教育・研究を目指して －

名古屋大学は、海外4ヶ国に**日本法教育研究センター**を開設し、その国の学生に対して、日本語による日本法教育を行っています。**日本語・日本法の十分な知識と理解を持つ専門家を、組織的・継続的に養成する拠点**形成を目指しています。



● = Education and Research Center for Japanese Law

タシケント国立法科大学 日本法教育研究センター



2000年 8月 2日 名古屋大学法学部と部局間協定締結  
2006年 6月 6日 名古屋大学と全学協定締結  
2005年 9月 7日 日本法教育研究センター開設

モンゴル国立大学法学部 日本法教育研究センター



2000年 4月 13日 名古屋大学法学部と部局間協定締結  
2006年 7月 20日 名古屋大学と全学協定締結  
2006年 9月 7日 日本法教育研究センター開設

ハノイ法科大学 日本法教育研究センター



1999年 12月 14日 名古屋大学法学部と部局間協定締結  
2007年 9月 7日 日本法教育研究センター開設

カンボジア王立法経大学 日本法教育研究センター



1998年 1月 9日 名古屋大学法学部と部局間協定締結  
2008年 9月 5日 日本法教育研究センター開設

日本のノウハウを活かしたアジア・アフリカの貧困撲滅のために  
 ー農学国際教育協力研究センター(1999.4設立)の挑戦ー  
 (ICCAE)  
 International Cooperation Center for Agricultural Education

アフリカ

インドシナ諸国



- ネリカイネの普及と振興
- 農業環境資源管理
- 有用植物遺伝資源の  
保全と利用

- 農産物加工振興による  
農村開発
- 道の駅/一村一品運動
- 大学教育研究強化

我が国とアジア・アフリカの若手人材育成

# ヤング・リーダース・プログラム(YLP)の現在(名古屋大学)

**目的**—アジア諸国等の将来のナショナル・リーダーの養成に貢献し、彼らの日本に対する理解を深めることを通じて、日本と各国指導者層の間に強固なネットワークを創り、諸国間の友好関係の構築を目指す、日本政府(文部科学省)の国費外国人留学生制度である。

**対象者**—政府機関の医療・厚生行政に携わっている5年程度の実践経験を持つ将来ナショナル・リーダーとして活躍が期待される者。また、授業を英語で行なうため、英語に堪能であること。

**対象国**—ウズベキスタン、カザフスタン、カンボジア、キルギス、タイ、ベトナム、マレーシア、ミャンマー、モンゴル、ラオス、ポーランド、ルーマニア、バングラディシュ(以上13カ国)

**卒業生**—81名 (全員が修士号を取得)

**出身国母体**—1. 政府 38名、 2. 大学 9名、 3. 研究所 1名、 4. 病院(政府管轄) 12名、 5. 病院 7名、6. 政府管轄機関 14名 合計81名

**職種**—1. 公衆衛生・衛生学 31名 2. 医療行政 41名 3. その他 9名 合計81名

**論文業績**—修士論文 81 編中、雑誌掲載済みは計 24 編(30%)

**年度ごとの論文数(卒業生と同数)**—2003-2004年 11篇, 2004-2005年 11編, 2005-2006年 16篇, 2006-2007年 15編, 2007-2008年 14編 2008-2009 14編

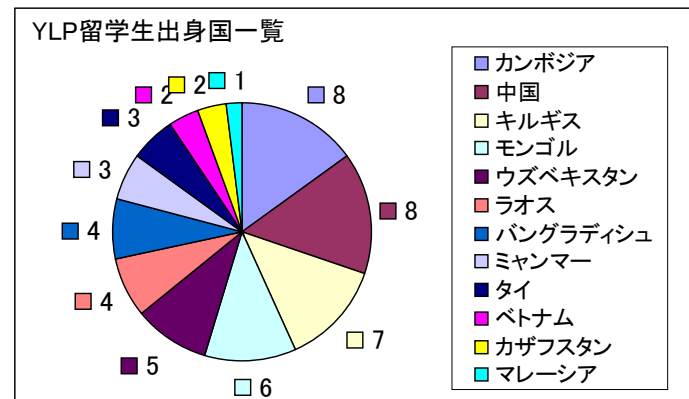
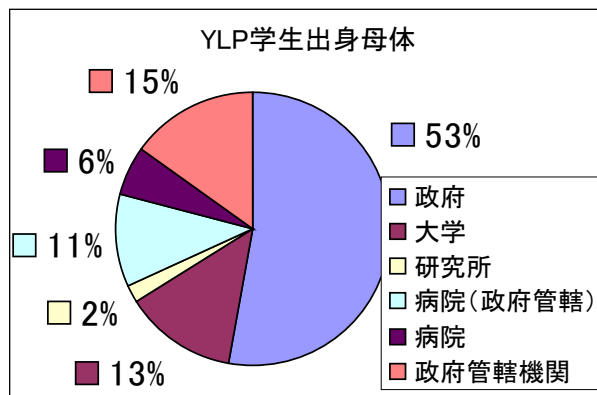




# ヤング・リーダーズ・プログラム(YLP)の現在

**卒業生の現在**—モンゴル保健省事務次官、カザフスタン保健省副大臣、ラオス保健省官房副長官、世界的臨床試験ウズベキスタン 統括責任者、カンボジア赤十字社人材局長などの高い地位に昇進し、名古屋大学で学んだことを活用している。(半分以上の卒業生は何らかの昇進を果たしている、ただし国によっては博士号が昇進の基準になる国もあるためこのプログラムに続く博士課程の充実が求められている)

**フォローアップ体制**—卒業生と密にコンタクト(ほぼ全員と連絡が可能)をとりその後の昇進にもつながるような活動も支援している。

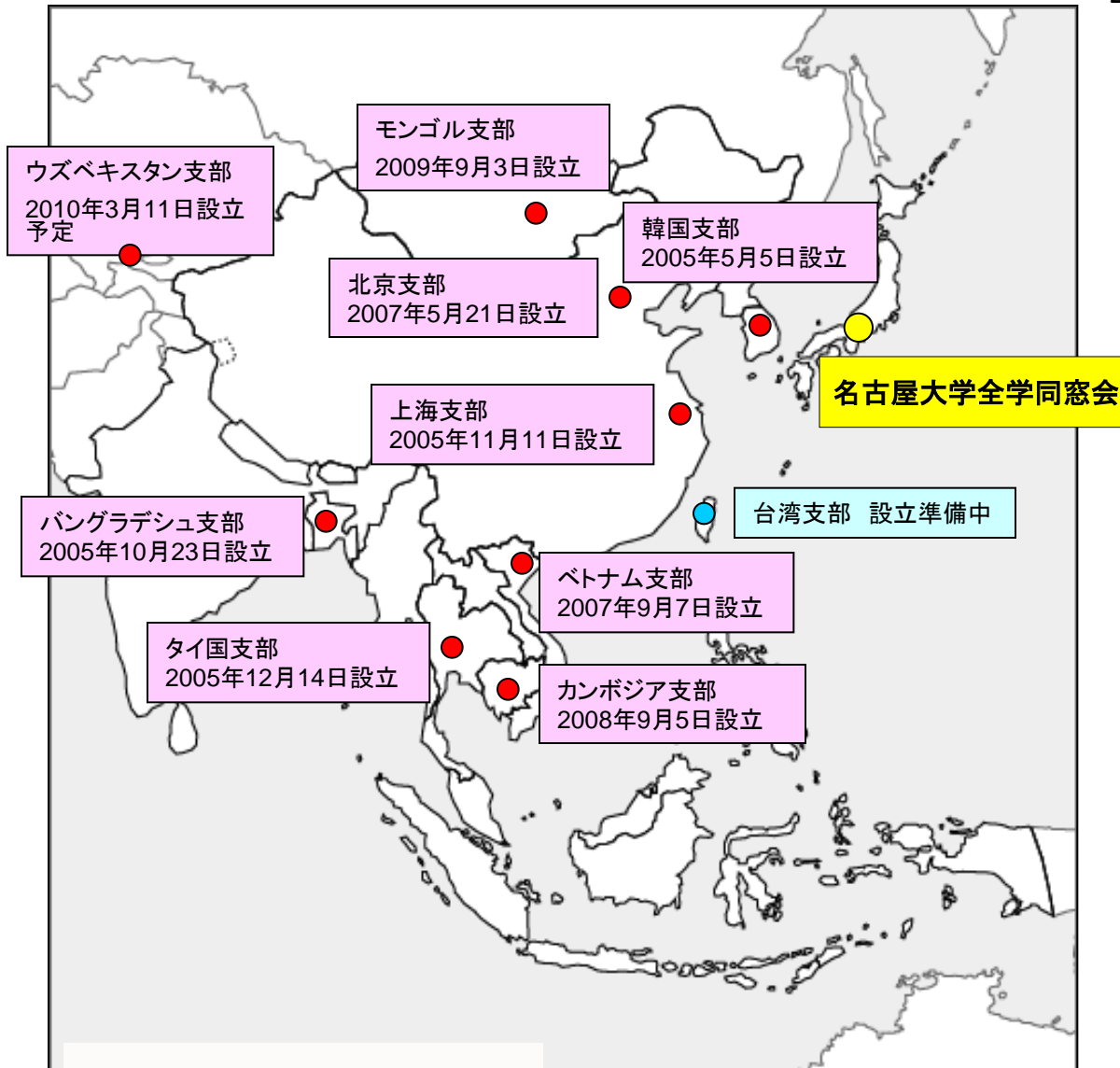


# 名古屋大学の海外拠点一覧



# 名古屋大学全学同窓会 海外支部の設立状況

2010年3月1日現在



同窓会会長：  
豊田章一郎  
(トヨタ自動車名誉会長)



## 2. 国際化の推進

名古屋大学は、  
これから何を実践したいか  
英語教育改革とG30



## 1 導入段階

英語 (基礎)  
(Academic English Basic)

● 1 年前期 (40人授業)

学術的な英文に関するリーディング能力とライティング能力を養成する。対面授業に加え、課外学習として、eラーニング教材「ぎゅっとe」中級リーディング/リスニング (週2.5時間) を課す。

英語 (サバイバル)  
(Academic English Survival)

● 1 年前期 (40人授業)

[Cコース対象]

英語基礎知識の再確認を図る。「ぎゅっとe」文法/初級リーディング/ボキャブラリーで鍛える。合格評価を得られない学生は2年次開講の英語授業を受講できない。

## 2 推進段階

英語 (中級)  
(Academic English Intermediate)

● 1 年後期 (40人授業)

英語 (基礎) で学んだ英文の基本的論理構成に関する知識を用いて、より高いレベルの英文読解、英作文を行う。課外学習は「ぎゅっとe」上級リーディング (週1.5時間)。

英語 (コミュニケーション)  
(Academic English Communication)

● 1 年後期 (20人授業)

リスニングとスピーキングを主としたコミュニケーションの能力を高める。ディスカッションやプレゼンテーションのための基礎力を養成する。課外学習は「ぎゅっとe」上級リスニング (週2時間)。

## 3 発展段階

英語 (上級)  
(Academic English Advanced)

● 2 年前期 (20人授業)

学会、企業等で必要とされるプレゼンテーションを行えるよう、リーディング、スピーキング、リスニング、ライティングの各能力を高め、それらの統合を目指す。課外学習は名大独自開発eラーニング教材「eFACE」(週2時間)。

英語 (セミナー)  
(Academic English Seminar)

● 2 年後期 (20人授業)

英語・英語文化についての深い教養を身につける。課外学習は大学向けeラーニング教材「Listen to Me! College Life」(週2時間)。

英語 (上級リーディング) 1/2  
(Advanced Reading)

● 2 年前期/後期 (40人授業)

[文学部対象]

高いレベルの、多様な英文の読解を行うとともに、現代社会における英語文化についての深い教養を養う。

特別英語セミナー  
(Special English Seminar)

● 全学年前期/後期 (20人授業)

[上級者対象]

上級者に向けて、ライティング、プレゼンテーション、リーディング、資格試験のそれぞれの分野別に高度な英語運用能力を身につける。

### 積上げ方式

- 基礎から中級、上級へ
- 基礎の復習

### クラス編成

1 年前期は習熟度別  
(A・B・Cコース) クラスで授業

### 学術英語 (Academic English)

- Paragraph Reading
- Paragraph Writing
- Presentation

### 検定試験 (世界標準)

- TOEFL-ITP 試験
- Criterion 試験  
(全員受験)

### eラーニング

自ら進んで学習できる環境

- 課外学習
- アカデミック・インクリシユ支援部門

### 特別英語セミナー

習熟度の高い学生の  
より高いレベルへの誘導

# 我々の体験

# 大学に入ってから も英語は 伸びる!

# 平均40点up!

# 半年で120点 伸びた学生を 総長表彰

# 名古屋大学におけるグローバル30 (国際化拠点整備事業)の取組み

## 1. 英語コースの新設

1. 学部:自動車工学、物理系、化学系、生物系、国際社会科学(計5コース)
2. 博士課程前・後期課程:物理数理系、化学系、生物系、医学系、経済・ビジネス国際、比較言語文化(計6コース)

## 2. ワンストップオフィスの設置

1. アドミッションオフィス(英語による学生受付業務)
2. キャリアディベロップメントオフィス(留学生の卒業後の進路指導)

## 3. 海外拠点の整備

ウズベキスタン事務所の設置(海外共同利用事務所)

- 日本の大学の魅力を情報発信
- 説明会の開催、入学審査時の面接等



# 名古屋大学の留学生受入れ計画



外国人研究者の比率を  
7.5%に

## 深刻な課題

- 奨学金の拡充
- 教室・研究スペースの確保
- 宿舎の確保

各大学の努力では限界か？



# 結論

- **「誠実、実直だが覇気に乏しい」を、「誠実、実直で、勇猛果敢な」名大生に！**
- **人は体験を通じて成長する。大学に、国際的な環境を、名大生に国際的な体験を！異文化の中で、生き抜く知恵と気力を養成する大学でありたい！**
- **名古屋大学基金のご理解とご支援を賜いますようお願い申し上げます。**